

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和 7年 12月 18日

事業所名: しげのぶ清流園

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分			事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
			はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
環境・ 体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	5			活動スペースの使用方法は利用者が過ごしやすいように職員同士で話し合っており、確保できている。	7		4	活動スペースにあまり入らないので分からない。	施設内に入る機会を利用し、丁寧な説明を行う。	
	2	職員の適切な配置	5			人員配置基準に基づき配置している。	8		1	2	適切である 分からない。	利用児童数に合わせ適切に配置している。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	5			活動スペースとして分かりやすいように、クッション材を敷き整備している。	8			3	活動スペースにあまり入らないので分からない。 参観時間があれば、理解しやすい。	必要に応じて、保護者の迎えの時間などを利用し参観時間を設ける。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	5			季節感のある展示や利用者の工作で、壁面構成している。消毒・清掃を随時行い清潔な印象が持てるよう配慮している。	7			4	清潔な空間となっていると思う。	
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	4	1		毎月放デイ会を開催し、課題検討を行い、関係部署も参加して共有している。						
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			5	外部評価は未実施。						現時点では実施予定はないが、必要に応じて検討する。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	3	2		必要な研修に参加できるように情報収集を行い、可能な限り参加している。						今後も積極的に研修に参加し会議等においてフィードバックして職員の質の向上に努める。
適切な支援の提供	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	4	1		支援プログラム作成し、HPにて公表している。	7			4	支援プログラムがあることを知らない。	支援プログラム公表にあたり、利用者、保護者へも丁寧な説明を行う。
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	5			ケースにより随時アセスメントを行い、関係部署の意見も取り入れながら支援計画の作成にあっている。	11				満足している。 しっかり作成できていると思う。 参観時間があると、活動と結び付けて理解しやすい。	
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	5			定期的にあセスメント等の聞き取りを行い、ご家族とニーズや課題の情報共有を実施している。	11				担当職員からの提案もあり、偏りなくできていると思う。	
	4	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	4	1		個別支援計画の内容と毎月の行事内容に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて作成、計画している。						
適切な支援の提供（続き）	5	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	5			支援学校とも情報共有し、適切な支援を行っている。	11				行われている。 利用を楽しみにしている様子なので満足している。	
	6	チーム全体での活動プログラムの立案	4	1		月1回開催する会議の場で話し合いを行っている。						
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	3	2		新しい活動プログラムの情報収集を行っているが、毎回更新するのは難しい。また、固定しなければならない活動プログラムについても随時検討している。	11				工夫されている。 固定しなければならないプログラムもあるので、答えにくい。 毎週の予定が分かるようにしてくれている。	
	8	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	2	3		それぞれ、支援学校が計画した支援課題を確認しているが、細やかに設定まではしていない。						支援学校とも情報共有を図りながら、多様な活動となるように計画を立て支援していく。
	9	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	4	1		前日の終礼で話し合い、当日の朝礼で最終確認している。						
	10	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	4	1		終業前ミーティングを行い、一日の振り返りと情報共有をしている。						
	11	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	5			各記録表に記入し、データ上にも記載をしている。						
	12	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	5			新規利用者は3ヶ月、継続して利用されている利用者は6ヶ月ごとに支援会議を行っている。また、相談事業所に支援計画書の送付を行っている。						

区分			事業所の現状評価			保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	5			サービス管理責任者又は、ケース担当者が対応している。						
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	3	2		必要に応じて連携している。						
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	4	1		年に1度は、利用者の主治医にケアの確認を行っている。						
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	3	1	1	保護者同意のもと、各関係機関から必要に応じて情報共有している。						
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	3	2		必要に応じて連携している。また、必要な研修については受講している。						
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	2	2	1	必要に応じて連携している。						
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供		2	3	参加できていない。	4		2	5	そういった機会を持っていない。そういった機会を持つ必要がない。交流会があるのを知らない。	利用者の希望も踏まえ、必要に応じて検討していく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	4	1		夏祭りやクリスマス会を開催し、ボランティアや一部の地域住民の参加があった。						
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	4	1		契約時や問い合わせがある時に、説明を行い理解を得ている。	11				その都度、説明されていると思う。	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	4	1		契約時や個別支援計画更新時期には、説明を行い理解を得ている。	11				説明されている。	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		3	2	保護者へのペアレントトレーニングは、実施できていない。	5	1		5	ペアレントトレーニングをしっかりと理解できていない。	具体的なプログラムは行えていないが、必要に応じて相談に乗っている。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	5			随時送迎などの時間を利用して、申し送りを含め状況の確認をしている。	11				送迎の時間などを利用して、話し合いの時間が作れている。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	3	2		保護者からの相談に応じて適切に対応している。	11				その都度、送迎の時間などを利用して、話し合いの時間が作れている。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	2	3		保護者交流会の実施を予定している。	8	3			どちらともいえない。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	5			苦情担当窓口を設置し、苦情があった際には、迅速かつ適切に対応している。	9			2	どちらともいえない。	
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	5			視覚カード、ジェスチャーなどで対応している。	11				できている。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	5			園だよりを2ヶ月に1回発行している。	11				清流園だよりや、毎月ごとの予定表で分かりやすい。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	5			利用者の個人情報については、同意書の提出を依頼し、他利用者の前では情報共有をしない。	11				できている。	再度情報管理を徹底し、細心の注意を払うように努めている。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	4	1		担当部署や委員会が作成し、職員会にて周知をしており、保護者には必要に応じて説明文を配布している。	8			3	防犯マニュアル以外は、説明を受けている。	再度保護者に具体的なお知らせが出来るように準備する。

区分			事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	5			非常災害時想定避難・救助訓練を年6回実施している。	6			5	避難訓練を行なったときには、説明を受けてるので何をしたらわかりやすい。	色々な災害の想定した避難訓練を行い防災意識を高めていきたい。
	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	5			保護者同意のもと、各関係機関から必要に応じて情報提供共有している。	11				随時確認してくれている。	
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	3	2		主治医及び保護者からの情報を基に栄養士と共有し、適切な食事提供に努めている。						主治医及び保護者からの情報を基に栄養士と共有し、適切な食事提供に努める。
	5	安全管理の徹底	5			あらゆる危険を想定し、安全管理に努めている。	10			1		
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	4	1		担当部署や委員会が作成し、職員会にて周知をしており、保護者には必要に応じて説明文を配布している。	9			2		
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	4	1		身体拘束廃止委員会や毎月の職員会議時に情報共有をしている。						事例検討、対策を園内メールで全職員に周知している。
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	5			虐待防止委員会を設置し、定期的に委員会を開催するとともに、全職員対象の研修を年2回以上開催するなど、虐待の無い施設づくり努めている。						
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	5			身体拘束の必要がある場合には、本人・家族の許可を得て、身体拘束等に記載している。						